

NPO 京都コミュニティ放送  
第 101 回 番組審議会 議事録

開催日時：2016 年 5 月 31 日（火）10：00～11：30

会 場：京都市中京区三条烏丸 烏丸ビル 2F Flag 三条

委員総数：7 人 出席：6 人 欠席：1 人

出席委員：山本時子 中村正 福井秀彦 岡本卓也 松浦さと子 竹下清

欠席委員：ジェフ・バーランド

局側委員：町田寿二 松岡千鶴 （順不同敬称略）

ゲスト：今西博子さん 「あなたをブランドアップする「ままこ」からの虹色ボイス」  
番組パーソナリティ

審議番組：「あなたをブランドアップする「ままこ」から虹色ボイス」

（毎月第 1 月曜日 22 時～放送の 15 分番組）

シンガーソングライター「ままこ」が、色や声のお話を通じて、ラジオをお聴きの皆さんのブランドアップにつながるようなトークをお届けします。

2016 年 5 月 2 日放送の番組を聞いて審議に入った。

■番組審議

冒頭

番組パーソナリティ今西博子さんから番組趣旨の説明があった。

番組は 4 月に始めたばかり。1 回目の放送は 1 人で、2 回目の 5 月はゲストを呼んで放送した。自分の経験や感じたことを 皆さんに出来るだけ伝えたいと思う。

審議委員の意見

- ・番組タイトルと内容が合致が必要なのではないか。何が虹色なのか、何がブランドアップなのかを分かり易くする方が良い。自力でやっている感じで親しみが持てた。
- ・手作り感がある。声は良いが、タイトルについての説明が少なく、自分のしゃべり代が多く、ゲストが置き去りになっていた時間があった。一杯言いたいことがあるのは良く分かるが、最初の 1 分位に自分が伝えたいことをまとめてはどうか。番組中、生で歌っていたが、生で歌うのは冒険家か自信家だ。
- ・歌い終わった後のテンションの高さが良い。そのまま、テンションを維持すると、楽しい番組になるのではないか
- ・今西さんはシンガーソングライターですか？
- ・自分で作った曲を全身を使って澁刺と歌っている。虹色の思いを皆に伝えたい。  
(今西)
- ・初回の放送を聞いた。聞きやすい声だと思う。これからが楽しみだ。
- ・自己肯定感が伝わってくる。プロの様にならないでほしい。バラバラな感じは否めないが、次に何が出てくるかという楽しみがある。只、ゲストの紹介はもっとあった方が良い。ところで何故「ままこ」なんですか。
- ・娘がつけた名前。どちらが「まま」か「子」か分からない子どもの様な私という意味です。(今西)
- ・市民の手作りの番組という親近感がわいた。

- ・テーマソングのボイスレベルが低かった。音楽と声があると声に耳が行く。音楽だけになってから話し始めると良いのではないか。
- ・余り上手くならず、これからもチャレンジを続けてほしい。
- ・「虹色」というのはLGBTの意味ですか？
- ・自分の色々あった人生を「虹色」という言葉で表現した。色々なことがあっても、自己を肯定する、その思いを大切にしたい。(今西)
- ・ゴスペルの生歌を売りにしても良いかもしれない。
- ・言いたいことが一杯ありすぎるので、話の引き出しを絞ると良いと思う。そうすると、ゆったりした気持ちで聞くことが出来る。
- ・冒頭にしていた色に関する話も、身近な例を挙げるとより色のイメージが伝わるのではないか。

以上で審議は終了した。

この審議会の議事録は2016年6月10日から事務所で閲覧できるようにした。  
この審議会の議事録は2016年6月10日からホームページで公開した。